

# 水戸市一般不妊治療等助成事業のご案内

一般不妊治療(タイミング療法や薬物療法、人工授精等)及び検査について、費用の一部を助成します。

助成対象については下記をご確認ください。



## ○対象者・治療内容・助成限度額

対象者	<p>次のすべての要件に該当する方が対象です。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1)法律上の婚姻をしている夫婦又は事実婚関係であること。</li> <li>2)夫婦のいずれか一方が検査・治療開始から申請まで継続して水戸市に住所(住民票)を有すること。</li> <li>3)各治療期間における初日(治療開始日)の妻の年齢が43歳未満であること。</li> <li>4)申請する治療(検査)について、他の地方公共団体から補助を受けていないこと。</li> <li>5)健康保険に加入していること。</li> </ol>
内容	<p>保険医療機関で実施し医師が必要と認めた検査及び治療について、保険適用後の自己負担分及び保険適用外(自費)の費用を助成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検査：精液検査、内分泌検査、画像検査、精子受精能検査、染色体・遺伝子検査、超音波検査、感染症検査、卵管疎通性検査、頸管粘液検査、子宮鏡検査、フーナーテスト等</li> <li>・治療：タイミング療法(待機療法)、薬物療法、人工授精、手術療法等</li> </ul> <p><b>【対象にならないもの】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入院室料、食事療養費、文書料、テキスト代、処方箋によらない薬(サプリメント等)、体外受精や顕微授精実施のための事前検査及びその治療過程における検査、検査過程で病気の診断が付き行った治療、ブライダルチェック、夫婦以外の者の精子・卵子を使用する治療</li> </ul>
助成限度額	<p>1年度につき 5万円まで(5万円に達するまで複数回申請できます。)</p> <p>※治療額が限度額に満たない場合、実際にかかった対象の額が助成額となります。</p>
注意事項	<p>令和8年4月1日～令和9年3月31日までに終了日を迎えた治療分について申請できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「1回の治療」とは、検査の開始日若しくは治療開始日から ①妊娠の判定又は妊娠に至っていないと判断した日、②体外受精・顕微授精に移行することになった日、③治療終了と医師が判断した日 のいずれかまでです。</li> </ul> <p>※自己都合による治療中断を終了日として申請することはできません。</p>

## ○申請手続き



※1回の治療ごと又は複数回をまとめて申請できますが、それぞれの治療終了日以降に申請して下さい。  
 ※初めて申請される際は、必ず子育て支援課へご相談ください。

◎申請手続きの際は、内容確認のためお時間をいただきます。時間に余裕をもってお越しください。

申請期限	備考
<p>治療の終了日(※)が属する  <b>年度の末日</b>  <b>(令和9年3月31日)まで</b> →</p>	<p><b>申請期限を過ぎての申請は、受理できません。</b></p> <p>やむを得ない理由により、申請期限内に申請ができない場合は、申請期限内に子育て支援課までご相談下さい。</p>

※治療の終了日は、医師が受診等証明書に記載した各治療期間の末日です。特に治療の終了日が年度末前後となる可能性があるときは、終了日によって申請期限が大きく異なりますので、自己判断はせず、医療機関にご確認のうえ申請準備を進めてください。

3月は医療機関の書類作成・市役所の窓口ともに混雑します。余裕を持ってご申請ください。

○申請に必要な書類等 ★ 準備できたら口にチェック✓ (基本内容です。不明点は下記問合せ先までご連絡ください)

省略できる場合あり	1	<input type="checkbox"/> 一般不妊治療等補助金交付申請書兼請求書(様式第1号)	・複数回分まとめて申請する場合、1枚ご準備ください。(夫婦で記入)
	2	<input type="checkbox"/> 不妊検査及び一般不妊治療受診等証明書(様式第2号) <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">医療機関に作成を依頼</span>	・他院に依頼し実施した検査・治療・投薬(院外処方)の治療費についても他院分の領収書や明細書を主治医へ持参し、合算額を記載してもらってください。 ・複数回分をまとめて申請する場合、1枚の証明書にまとめて記入してもらってください。
	3	<input type="checkbox"/> 領収書 <input type="checkbox"/> 明細書 <span style="font-size: 2em; vertical-align: middle;">}</span> <input type="checkbox"/> <b>原本</b> と <input type="checkbox"/> <b>原本のコピー</b> (受診等証明書に記載された治療期間内分)	・原本は確認後お返しします。 ・入院室料、食事代、文書料、サプリメント、テキスト代、医療機関以外で受けた治療費等は助成対象外です。 ・主治医が他院等に依頼し実施した検査・治療・投薬がある場合は、その領収書・明細書(院外処方の場合は処方された薬のわかるもの)も持参してください。
	4	<input type="checkbox"/> 健康保険証又は加入医療保険が分かる書類 ①資格確認書 ※コピー可 ②資格情報のお知らせ(通知そのもの) ※コピー可 ③マイナポータルの保険情報画面の提示 ※スクリーンショットし印刷したものでも可	【夫・妻それぞれご確認ください】 ・全額自費で治療した方のみ必要。(提示のみ) ※ご夫婦とも全額自費で検査・治療を受けた場合は、お二人分の提示が必要です。 【不可:資格取得日がわからないもの】 ・マイナンバーカード、資格情報のお知らせを切り取ったものなど。
	5	<input type="checkbox"/> 戸籍謄本 (発行から3か月以内)	・新規申請の方、事実婚関係、夫婦のどちらか一方が水戸市に住民票がない場合は必要です。 ・住民票の記載内容でご夫婦の婚姻関係が確認出来ない場合(ご夫婦の住所や世帯が異なる、住民票で夫婦であることが確認出来ない場合等)は申請ごとの添付が必要です。
	6	<input type="checkbox"/> 世帯全員の住民票 (発行から3か月以内、マイナンバー記載のないもの)	・ご夫婦それぞれの「続柄」、「戸籍筆頭者」の表示を省略しないもの。 ・住民票の記載内容により、ご夫婦の婚姻関係が確認できない場合は、戸籍謄本も必要です。(ご夫婦の住所や世帯が異なる場合など) ◎夫婦ともに水戸市に住所を有しており、申請書にて、住民記録情報を閲覧されることに同意する場合は、提出を省略することができます。
	7	<input type="checkbox"/> 相手方登録申請書 <input type="checkbox"/> 口座情報のわかるもの	・新規申請の方、住所や指定口座に変更がある方
	8	<input type="checkbox"/> 事実婚関係に関する申立書(別紙)	

書類ダウンロード



○不妊に関する相談窓口(茨城県不妊専門相談センター)

不妊や不育症で悩んでいる方のための専門の相談センターです。不妊治療専門の産婦人科・泌尿器科医・カウンセラー・助産師が、無料で相談をお受けしています。

県内2か所(県央地区・県南地区)で個別面接相談、県央地区でグループミーティング(おしゃべり会)を実施しています。平日夜間や休日に完全予約制で開設していますので、詳細についてはお問い合わせ下さい。

茨城県産婦人科医会 電話 090-2282-7388  
(月～金曜日 午前9時～午後3時)

QRよりアクセス



<書類の取得方法>

- 1、2、7、8 …… **子育て支援課**  
 5 …… 本籍地のある市町村  
 6 …… お住まいの市町村

○水戸市ホームページをご覧下さい

水戸市ホームページでは、申請に関するご案内や申請書のダウンロード、相談窓口等の情報を掲載しております。

○申請・問合せ窓口

水戸市 子育て支援課(水戸市役所2階)

電話:029-350-1216 月～金曜日 8:30～17:15(土日祝、12/29～1/3を除く)

水戸市 一般不妊治療

事業内容が変更になる場合がありますので、申請前に担当へお問合せいただくか、水戸市ホームページをご確認ください。